

しがきいひろば

あしかが市議会だより No.370 2024年2月号



SPECIAL
INTERVIEW

堀 優衣 さん



足利市議会

CONTENTS

- P4 12月定例会の審議結果
- P5 一般質問をピックアップして紹介
- P10 議員定数について考えてみよう！
- P12 第一中学校にインタビュー

今号の表紙

今号の表紙は、足利みらい応援大使の堀優衣さんです。歌手として大活躍されている堀優衣さんと「足利市」をテーマに対談を行いました。

私たちの「足利市」について語り合う

堀優衣さん × 足利市議会

現在歌手として活躍され、足利みらい応援大使としても活動されている堀優衣さん。仕事に対するやりがいのほか、足利市や選挙に対する思いなどを語っていただきました。

——堀さんは、歌手としての活動をはじめ、さまざまな場面で活躍をされていますが、どのようなところにやりがいを感じますか？

堀さん ファンの方や地元の方など、応援してくださっている方から、「優衣ちゃんの歌を聞いて希望が持てた」「もっと頑張らなきゃという気持ちになった」などの感想やコメントをいただいたときに、すごくやりがいを感じるのと同時に、うれしい気持ちになります。

——令和5年から足利みらい応援大使として活躍されている堀さんにとって、足利市とは何ですか？

堀さん とても温かいふるさとですね。足利市に帰った際には、温かい声をかけてもらえることが多く、また、ふるさとで歌うと「このまちで育ってきてよかった」と感じます。また、渡良瀬橋から見た夕日の景観がとてもきれいで、足利市の好きなおとこ一つです。

——ふるさとである足利市のこれからに、何か期待することはありませんか？

堀さん たくさんの方に来てもらえるようなまちになってほしいと思います。東京からの良好なアクセスに加え、史跡足利学校や鏝阿寺があるなど、歴史のまちであるほか、世界的に有名なあしがらフラワーパークがあるといった魅力を知っていたら、観光地の一つとして選んでもらえると嬉しいです。

——これまで選挙についてご自身のSNSを通して多くの情報発信をされていますが、実際に投票してみてもどのように感じましたか？

堀さん 初めて投票したときは、参加できることにワクワク感がありました。選挙は自分の意見を伝えることができる手段の一つであると思っています。



▲令和5年4月9日に行われた栃木県議会議員選挙では、イメージキャラクターを務められました。



堀さんからのメッセージ

夢や目標を持つことは
とても大切なことだと思っています。
その夢や目標に向かって、
諦めずに全力で頑張ってください！

PROFILE

2000年生まれ。
栃木県足利市出身。
これまで数多くのテレビ番組や
ライブ、コンサートに出演。
現在、歌手として活動中。

足利みらい応援大使 堀 優衣さん



◀令和5年11月5日に開催された第46回足利尊氏公マラソン大会では、素晴らしい歌声を披露していただきました。

——最後に、しぎかいひろば
を読んでいただいたとのこと
ですが、読んでみてどのよう
に感じましたか？

堀さん 議会と聞くと、ど
うしても距離を感じてしま
いがちですが、実際にしぎかい
ひろばを読んでみて、議員さ
んの考えや市議会のことを知
ることができ、とても勉強に
なりました。多くの方々
にとって、市議会について知る
機会があまりないと思います
ので、ぜひ皆さんに見てい
ただきたいと思います。

こんな結果になりました！

令和5年第5回定例会は11月29日から12月22日までの24日間開催しました。提出された議案など合わせて16件について、慎重に審議しました。

市長から提出された議案等 13件

議員から提出された議案等 3件



会議結果



審議結果



録画配信



議案

注目議案 を **PICK UP!**

総務企画防災 常任委員会

PickUp 1 議案第72号
令和5年度足利市
一般会計補正予算
(第7号)について

名刀山姥切国広の取得に関する事業費など、歳入歳出予算に8億4000万円を追加する補正予算について審議を行い、原案のとおり可決されました。

Q 山姥切国広に関し、クラウドファンディングで1億2000万円が集まったが、1億円を取得費用に充て、約2000万円をポータルサイトの手数料として支払うことにより、維持管理費に充てられなくなるのではなか。

A 一般のふるさと納税などでも寄付を募集している。総計1億6300万円が集まっており、維持管理費についても、集めることができている。

民生環境水道 常任委員会

PickUp 2 議案第73号
足利市児童館(足利市にしこども館及び足利市八幡こども館)の指定管理者の指定の変更について

足利市児童館(足利市にしこども館及び足利市八幡こども館)の指定管理者の指定期間の変更について審議を行い、原案のとおり可決されました。

Q 八幡こども館は建設から51年が経過し、新耐震基準前の建設であるため、老朽化していると思うが、何か対応を考えているのか。

A 指定管理者との協定には、いくら以上はどちらが修繕するといった取り決めがある。今後、ある程度お金がかかる修繕も発生してくると予想されるため、必要な部分は市で対応しながら考えていきたい。

教育経済建設 常任委員会

PickUp 3 議案第75号
足利市民プラザ条例の改正について

あしかがフラワーパークプラザ内のフラワーパークの改修に伴い、使用料の改定等所要の規定を整備するための条例改正について審議を行い、原案のとおり可決されました。

Q プラザサロン1号室、2号室の使用料に今回新たに全日の区分を設ける趣旨について聞きたい。

A 文化芸術団体が各種展示会で複数日連続して使用することが多く、かねてより全日の区分を設けて欲しいとの要望が寄せられていたため、今回のプラザサロンの改修に合わせて取り入れるものである。

広報広聴 常任委員会

主な調査報告について

①記者懇談会の実施
報道機関を通じて議会の活動状況を市民に知っていただくため、記者との懇談会を実施しました。

②行政視察の受け入れ
市議会はつびを作成、着用し、行政視察に訪れた他市町議会議員を出迎えるなど、対応の充実を図りました。

③オンライン議会報告会・意見交換会の実施
11月18日に初めての試みとして、オンラインで子育て環境や子育ての悩み等を意見交換する「足利しぎかいサロン」を実施しました。

④中学校出張きかいの実施
議員が講師となり、議会のしくみや議員の役割を伝える「出前授業」を市内中学校の3年生に実施しています。令和5年度から、「議会を知ろう!」中学校出張きかいは「と名称を改め、初めてのワークショップ形式で7校23クラスに実施しました。

こんなことを聞きました！

市政を問う一般質問を開催 市民の思いを胸に、12名が登壇

各議員がさまざまな視点からまちの課題などに対する考えを聞く一般質問。ここでは質問の内容をダイジェストでお伝えします。二次元コードから録画配信をご覧ください。



議員	会派名 氏名	録画 配信
質問	議員の質問	
回答	市長などの回答	
ひと言	質問に込めた思いなど	



あしかが自民党議員会
わたなべ さとる
渡辺 悟



相田みつを氏生誕100年の 特別展開催を！

質問

本市出身であり多くの作品を生み出した相田みつを氏が、令和6年に生誕100年を迎える。大変おめでたいものと考えているが、この100年という節目に合わせて、本市で展示会等を開催する考えはあるのか。

回答

温かみのある書体と心に響く言葉で紡がれた相田みつを氏の作品は、多くの人々に愛され続けている。相田氏の生誕100年の節目に、生誕の地である本市において、作家活動の顕彰や作品の価値を見つめ直すことは大変意義深いと考えており、関係団体と連携を図り、実現に向けて検討していく。

ひと言

市内に多く存在する相田氏の作品が市外に流出するのを防ぐため、本市で永久保存を進めるべきです。



自民プラス
くりはら おさむ
栗原 収



令和6年度予算の 考え方について問う！

質問

令和6年度予算編成の基本方針では、公共施設の更新、実施計画事業への取組、少子化対策、移住定住策、地域経済の活性化などの7つの具体的な方針を打ち出しているが、どのような事業の実施により目的を達成するのか。

回答

7つの基本方針の中でも、「こどもを中心とした社会実現への取り組み」、「生産性の向上を主眼とした自治体DXへの取り組み」、「持続可能な財政運営のための歳入確保」を重要と考えており、そうした事業の実現を目指していく。今後も市議会と建設的な議論を交わし、よりよい予算になるよう努めたい。

ひと言

人口減少や少子高齢化、厳しい財政状況の中でも、将来に希望の持てる予算を創ります。



織姫クラブ

こぬまみつよ
小沼光代



子どもたちに郷土愛と誇りを持ってもらうために！

質問

現在、本市ゆかりの名刀である山姥切国広の取得に向けた縷縷プロジェクトが実施されている。この中で、山姥切国広を市民の郷土愛と誇りの醸成、これからの未来を担う子どもたちの教育に役立てていきたいとしているが、どのような方法で実現するのか。

回答

私たちが目にすることのできる文化財や感じることのできる文化の香りは、このまちに住む人々の郷土愛と誇りの根底にあるものと考えており、令和6年度末に開催予定の特別展では、市民に限定した無料観覧日の設定や次代を担う子どもたちを対象としたギャラリートークなどを計画している。

ひと言

郷土に愛着を持つことは、自分たちのまちをもっとよくしたいという社会参加につながります。



公明党議員会

ふじもとひでき
藤本秀樹



物価高騰から市民生活を守れ！

質問

物価高対応重点支援地方創生臨時交付金が国の予算に追加された。同交付金は地域の実情に合わせて、きめ細やかな支援を行えるものがあり、事業計画は各自治体に委ねられているが、その活用をどのように決めていくのか。また、本市独自の取り組みを行う考えはあるのか。

回答

同交付金のうち、推奨事業メニュー分の活用については、国の支援メニューに則した対応が基本となる。物価高騰の影響を受けた市民の負担軽減につながるよう、国や県の動向を注視しながら、まずは低所得世帯支援枠分の住民税非課税世帯に対する7万円早期給付に努めたい。

ひと言

本市は推奨事業メニュー分として、2億6,300万円余が交付されるとのことです。迅速かつ適切な支援を望みます。



公明党議員会

いとやみちよ
糸谷道代



HPVワクチン接種の積極的勧奨を！

質問

令和4年度にHPVワクチンの積極的勧奨が再開された。合わせて同ワクチンの積極的勧奨差し控えの影響を受け、接種最適年齢に接種を受けられなかった世代に対してキャッチアップ接種が開始されたが、接種率を上げるため、今後どのような周知を行うのか。

回答

本市では、接種していない全ての方に対し、令和4年度から2年間通知を行い、接種を勧奨してきた。令和6年度はキャッチアップ接種の最終年度となるため、キャッチアップ接種を完了していない方に勧奨通知を送付する。また、新たに定期接種の対象となる小学校6年生等に通知を行う予定である。

ひと言

子宮頸がんは防げるがんです。確実な情報提供により、接種の可否を判断していただきたいと考えます。



自民プラス

すえよしとしひろ
末吉利啓



夜景観光を着実に宿泊へつなげるために！

質問

本市の観光振興における課題の一つに観光客の宿泊率の低さがある。関係者や有識者の力を借り、夜景観光を宿泊に結び付けるための調査・研究を行うとともに、夜景観光がどの程度宿泊を誘導しているのか、現状を把握する必要があると考えるがどうか。

回答

夜景観光を宿泊客の増加につなげるためには、現状を把握することが肝要と考えている。例えば、足利灯り物語の来場者を対象にアンケート調査を実施するなど、足利市観光協会や宿泊施設と連携するとともに、有識者からも助言をいただきながら取り組んでいく。

ひと言

観光客の滞在時間は延ばせているが、宿泊への動機付けに課題があると考えます。



会派を構成しない議員

よし だ はる のぶ
吉田 晴信



地区防災計画の策定状況と策定支援について問う！

質問

地区防災力向上に向け、自主防災会が果たす役割は非常に大きいと考える。現在、本市では自主防災会に対し、地区防災計画の策定を促しているが、策定状況について聞きたい。また、策定に対する支援はどのように行っているのか。

回答

現在 12 団体が策定しており、さらに令和 5 年度末までに複数団体の策定を見込んでいる。本市では、自主防災会が計画を策定する際、職員が地域に入り込み、ワークショップ等を行いながら地域における防災上の課題を一緒に考えるとともに、計画推進に向けた補助制度による支援を行っている。

ひと言

多くの自主防災会で地区防災計画が策定できるように私も協力し、アドバイスしていきます。



公明党議員会

いし の じゅん こ
石野 純子



こども食堂について問う！

質問

子どもを取り巻く環境が複雑化、多様化する中、さまざまな家庭環境にある子どもたちが安心安全に過ごすことができる居場所として、こども食堂が注目されている。ほかにも地域交流の場などのさまざまな役割も考えられるが、こども食堂に対する所見を聞きたい。

回答

こども食堂は、コミュニティーづくりや子どもの貧困対策など、地域のさまざまな課題解決に向けて、大きな役割を担っていると認識している。本市としても関係団体等と連携し、こども食堂の活動がさらに広がり、地域の実情に寄り添った支援につながるよう取り組んでいく。

ひと言

子どもの幸せを最優先に考える社会へ向け、施策を推進するべきです。



会派を構成しない議員

み た けん ぞう
三田 研三



納めた税金の使い道・生活に直結する問題を自分たちで決めるための選挙です！

質問

投票率が現状 40% を切ってしまった原因はいろいろあると思われるが、今後どうやって回復していくつもりか。行政面から具体的対策を聞きたい。

回答

市民に身近な地方選挙の投票率が低下傾向にあることは大変重く受け止めている。現在実施している若い世代へのダイレクトメールや満 18 歳を迎えた新たな有権者への誕生日カードの送付に加え、親子連れ投票の P R、高校への出前講座などの啓発事業のさらなる充実に努めていく。

ひと言

選挙の投票率は何十年も下がりっぱなしであり、議員の努力が求められています。



会派を構成しない議員

とり い やす こ
鳥井 康子



生活保護制度の申請時の対応について問う！

質問

生活保護を申請しようと窓口を訪れた市民に対して、申請の意思を受け止めず、帰らせるケースがあると聞く。親族等に頼ることが難しいケースや、働いているが生活の維持が難しいケースなどについて、支援策を伝えるなど前向きな対応を取ることができないか。

回答

生活保護の相談があった場合、相談者の状況を把握した上で、各種支援策の活用等について助言を行うとともに、制度について十分な説明を行い、保護申請の意思を確認している。申請に至らない場合でも相談者の状況に応じ、関係機関と連携して支援を行うほか、支援に関する情報提供を行っている。

ひと言

困窮して窓口に来る市民の声を丁寧に聞くことが肝要と考えます。



自民プラス

かね こ ひろ み
金子 裕美



不登校の子どもの居場所を増やそう！

質問

児童館（こども館）は、児童福祉法に定められた全ての子どもが利用できる施設である。不登校の児童生徒が通える教育の場は、市内に学校・家庭教育相談室の1か所しかないが、居場所の一つとして児童館を周知し、学校と協力体制を取ることが必要と考えるがどうか。

回答

不登校の児童生徒が、居場所の一つとして児童館を利用することは、人と接する機会が増え、有意義であると考えます。学校や家庭に周知することで、学校・家庭教育相談室に通室できない子どもたちが、家から出るきっかけになることが期待できるため、今後、関係各課との連携、協力を努めたい。

ひと言

児童館の利用を学校の出席扱いにできるよう、課題解決に向けて連携してほしいです。



会派を構成しない議員

お ぜき えい こ
尾関 栄子



食料自給率を引き上げる農業政策となるのか！

質問

国の法改正により、市では2025年3月末までに地域農業経営基盤強化促進計画を策定することとなった。このことで農業者が米、小麦、大豆のほか、トマトやアスパラなど7品目のあしかが美人などをつくり、食料自給率の引き上げにつながるのか。

回答

同計画は、地域ごとに関係者が話し合いを行い、地域農業の在り方や目標とする農地利用の姿を示した地図等を取り決め、策定するものである。また、地域農業の発展や農地を維持していく方法を地域で取り決めることを目的としており、食料自給率の引き上げにつながる可能性もあると認識している。

ひと言

食料自給率を高めるために、同計画で農業の担い手を増やす政策を打ち出すべきです。

PICK UP 「議会を知ろう!~中学校出張ぎかい~」を実施しました!

足利市の未来を担う子どもたちに地方議会や政治について興味を持ってもらうために、中学校を訪問し議員自らが講師として議会のしくみや議員の役割を伝える「出前授業」を実施してきました。令和5年度からワークショップ形式で足利市のまちづくりを考えてもらう内容に変更し、新たに「議会を知ろう!~中学校出張ぎかい~」として中学校7校で実施しました。

「もしあなたが市長だったらどんなまちを目指しますか?」というテーマに対し中学生ならではの考えや意見をたくさん伺うことができ、私たち議員としても多くのことを学ぶことができました。



【実施スケジュール】

11月 1日	第二中学校
9日	富田中学校
10日	愛宕台中学校
14日	西中学校
21日	協和中学校
12月 7日	第一中学校
8日	山辺中学校

生徒の皆さんが考えたまちづくりはコチラ



PICK UP 委員会の動きについて

令和5年11月29日に、議会運営委員の変更がありました。

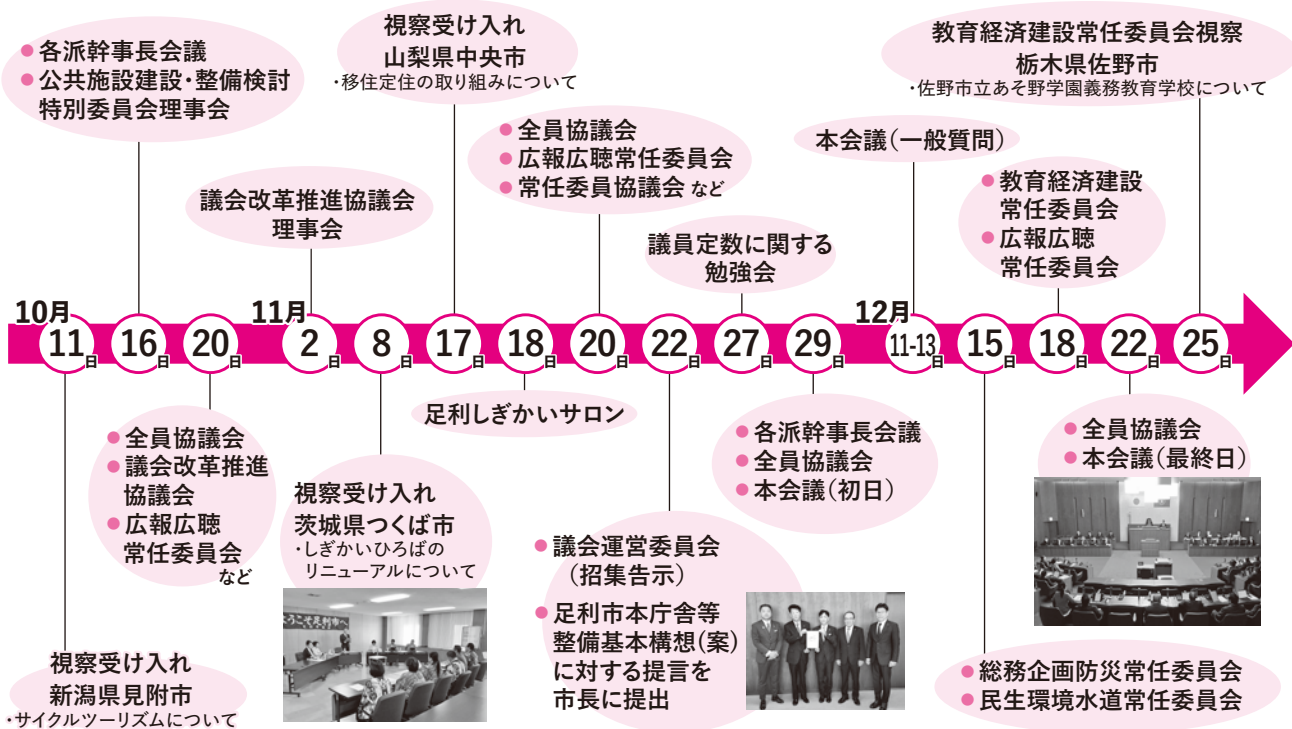
【議会運営委員】

小林貴浩、金子裕美（新任）、末吉利啓、藤本秀樹、小沼光代

3月 定例会のご案内

2月	27日(火)	本会議(初日)		
3月	11日(月)	本会議(一般質問)	19日(火)	教育経済建設常任委員会 広報広聴常任委員会
	12日(火)	本会議(一般質問)		
	13日(水)	本会議(一般質問)	21日(木)	予算審査特別委員会
	14日(木)	本会議(一般質問予備日)	22日(金)	予算審査特別委員会
	18日(月)	総務企画防災常任委員会 民生環境水道常任委員会	25日(月)	予算審査特別委員会(予備日)
			26日(火)	本会議(最終日)

PICK UP 9月定例会から12月定例会までの議会の動きをお知らせします！



※紙面の都合上、主な活動のみを紹介しています。このほかにもさまざまな活動を行っています。

PICK UP 「足利しぎかいサロン」を実施しました！

これまで、議会活動や市政に関する情報をお伝えするとともに、市民の皆さんの声をお聞きするため、各地区の皆さんや市内の団体等を対象に議会報告会・意見交換会を実施してきました。令和5年度は新たな試みとして、子育てに関わりのある方々を対象に、11月18日(土)にオンラインによる議会報告会・意見交換会を実施しました。



「足利市の子育て環境について」をテーマに実施しました。

いただいた意見は市長に提出しました。議会としても今後の政策立案や提言につなげていきます。



市長に提出した報告書はコチラ



PICK UP 委員会視察を行いました！

総務企画防災常任委員会

【長野県茅野市】AⅠ乗合オンデマンド交通「のらぎあ」について
【岐阜県可児市】消防団員確保の取組について



民生環境水道常任委員会

【愛知県刈谷市】高齢者支援の取組について
【愛知県豊田市】衛星画像とAⅠを活用した漏水対策について



教育経済建設常任委員会

【愛知県岡崎市】大河ドラマを契機とした観光振興について
【愛知県瀬戸市】小中一貫校について



考えてみよう!

Vol.1はコチラ /



Vol.2

紹介しました。
な算出方法があると述べています。

の例を紹介します

類似都市比較方式

人口規模が同じような都市や人口と産業構造が同じような都市と比較して算出する考え方です。



人口比例方式

議員一人当たり、何人の足利市民を代表しているのが算出する考え方です。

議員一人当たりの足利市の人口は5,938人となっており、市民一人に対する議員数は県内で2番目に少ない状況です。



県内他市の状況はコチラ!

常任委員会数方式

議案の審査を行う常任委員会に何人の委員が必要か算出する考え方です。

委員が多すぎると意見が多岐にわたって結論が出づらくなる一方、委員が少なすぎると十分な議論を行うことができないなどの問題があります。

議員定数に関する勉強会を開催しました!

前号及び今号の議員定数に関する特集記事の作成にご協力いただいた廣瀬和彦先生を講師にお招きし、令和5年11月27日に議員定数についての勉強会を開催しました。

今後、議員定数の適正化について議論を進めるに当たり、論点を整理し考え方を学ぶため、全国的な地方議会議員の状況や他市の例などについて具体的にご教授いただきました。

様々な視点から、本市の議員定数を考えるよい機会となりました



前号に引き続きこのページは

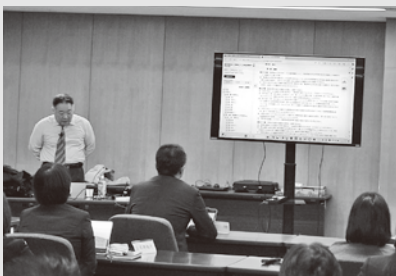
廣瀬 和彦先生にご協力いただきました



目的を明確にして議員定数の算出方法を検討することが重要です!

プロフィール

慶應義塾大学大学院法学研究科修士課程卒。全国市議会議長会で法制・議事運営等の職務に20年以上にわたり従事。現在、地方議会の法制執務をサポートする会社の代表や明治大学政治経済学部及び同公共政策大学院の講師を務める。また、議会に関する著作物も数多い。



▲勉強会の様子

密着！

あしかがしぎかい

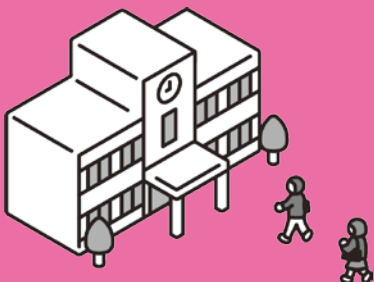
議員定数について

前回の特集では「議員定数の考え方」について廣瀬先生は議員定数を考える上で、6つの具体的な今回は、その6つの例をご紹介します。

議員定数の考え方

小(中)学校区方式

小学校(中学校)区から最低一人を選出し、各小学校(中学校)区ごとの1票の格差を勘案し算出する考え方です。



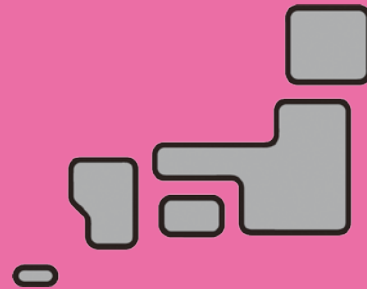
議会費固定化方式

議会費(本会議の運営やしぎかいひろばの発行に要する費用)のうち、議員定数と議員報酬に焦点を当てて算出する考え方です。



面積人口方式

統計学に基づいて、人口や面積により算出する考え方です。



足利市議会ではこのように検討を進めています！

足利市議会では、議長を除く全議員(23名)で構成する「議会改革推進協議会」を設置し、議会改革に取り組んでいます。

前期第25期市議会では、計45回の会議を開催し、議員定数について多くの議論を重ねてきました。現在の第26期市議会においても、前期に引き続き、足利市議会における適正な議員定数に向けた検討を進めていきます。

▼議会改革推進協議会の様子



足利市議会に関する市民アンケートの結果をお知らせします！

市民の皆さまのご意見を議会活動の参考とするため、第368号(令和5年8月1日発行)で足利市議会に関する市民アンケートを実施しました。

いただいた回答の中には、議員定数についての意見もあり、市民の皆さんの関心の高さを改めて感じました。今後はいただいた意見も参考にして、議員定数について検討を進めていきます。貴重なご意見をお寄せいただき、ありがとうございました。

詳しい結果は
こちら



ぎかいにとどけ！
わたしたちのこえ

第一中学校の皆さんに聞きました こんなまちになったらいいな ～足利市の将来について～

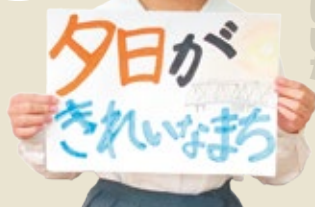


今回ご紹介するのは **第一中学校**！

土曜授業での地域ボランティア、生徒が創る行事「一中物語」等があり、生徒がモチベーション高く取り組みつつ、個性を尊重し合えるような雰囲気の中で学んでいます。

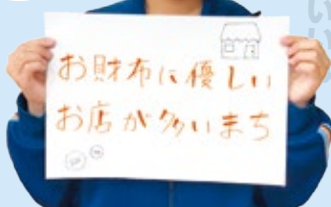
今回は前期生徒会・後期生徒会の9名の皆さんに「将来こんなまちになったらいいな」という足利市への思いをお聞きました。

2年
久保さん



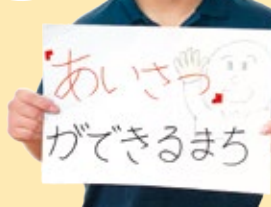
「渡瀬橋」の詞のような景色や自然を大切にしていきたいからです。

3年
塚原さん



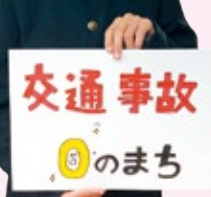
学生でも気軽にに行けるお店が増え、活気的なまちになってほしいです！

3年
恩田さん



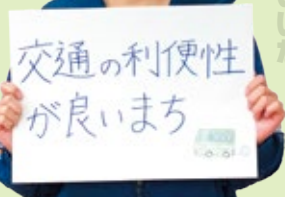
挨拶が出来れば、皆が仲良くなり足利のまちが明るくなるからです。

3年
笠原さん



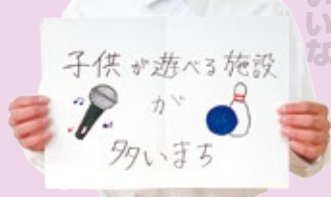
交通事故がなくなり、市民が安全に運転できるまちにしたいからです。

3年
小川さん



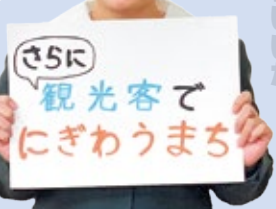
祖父母が買い物に行きたくても、バス停が遠くて気軽に行けないからです。

2年
福地さん



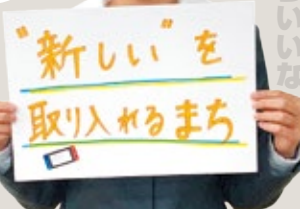
子供が遊べる施設がもう少し多い方が良くと思ったからです。

1年
石花さん



足利のいい所をもっとみんなに知ってもらいたいからです。

3年
岩崎さん



eスポーツなど、新しい事に取り組み、より良い社会を創りたいからです。

1年
鶴岡さん



道ばたや空き地によくごみが落ちていているからです。